

集会案内の裏面を借りて、今回の北朝鮮のロケット発射について少し調べたことを書きます。読んで頂ければありがたいです。(このページは個人の見解です。) 豊島耕一

長距離ロケットを「ミサイル」と呼ぶ不自然な報道に疑問を感じます。

北朝鮮の長距離ロケット発射について、マスコミは「北朝鮮がミサイル発射」とか、「事実上のミサイル発射」というように、「ミサイル」という言葉を使っています。しかし、もしミサイルなら、標的(目標)はどこか、どんな弾頭を積んでいるかが大問題ですが、これに全く触れません。一方、当の北朝鮮は「人工衛星打ち上げ」と称しています。実際、衛星軌道に載った物体をアメリカが確認しています。

外国のメディア、例えばイギリス BBC やアメリカ CNN*は「長距離ロケット」(long-range rocket)と報じています。「ミサイル」という言葉を使っているのは日本だけかも知れません。

報道統制の疑惑：今回の報道が政府の誘導によって行われた疑いもあります。右のツイッターの Oka Norimatsu さんは私が直接知っている方で、信頼できます。

さらに、「迎撃」と称してイージス艦を展開したり、石垣島に PAC 3 を配備したりしましたが、これについては、もと防衛大学校教授・孫崎享氏のツイッターは「ありえないこと」と指摘しています。

排外主義の危険：2012 年にも同様の北朝鮮によるロケット発射が行われたとき、NHK 佐賀のローカルニュースでも今回同様「ミサイル」という呼称を使うので、電話で問い合わせをしました。ひどい対応で、話の趣旨が理解してもらえないばかりか「北朝鮮の者か？」と言われてしまいました**。

このように、「外国の脅威」ということが言われると、それについて批判的なことを口にしにくくなるという雰囲気が社会に出来上がります。70 年前に終わった戦争も、そのような雰囲気の中で始められたのではないのでしょうか。この種の問題では、メディアは特に正確さと冷静さに配慮すべきだと思います。(北朝鮮の核実験と関連して、同国のミサイル技術の開発が大問題であることはもちろんです。)

注：ウィキペディアによると、ミサイルとは「目標に向かって誘導を受けるか自立誘導によって自ら進路を変えながら、やはり自らの推進装置によって飛翔していく軍事兵器のこと」とあります。

* <http://edition.cnn.com/2016/02/09/asia/north-korea-rocket-launch/>

** <http://pegasus1.blog.so-net.ne.jp/2012-04-16>

